

【テーマ1】

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

幼稚園番号	1 1 8 8 4 1 0
園名	光塩幼稚園

1. 活動のテーマ

＜テーマ＞

「いつもそばに絵本」「本はいつもおともだち」表現（絵本・図鑑）

＜テーマの設定理由＞

- 令和4年度より、光塩幼稚園では、「読書」を核とした保育を展開している。
- 日常の保育を通して「読書」を楽しみ、言葉の広がり、感動する心、想像（創造）する力、探究する力を育てるとともに、思いやりの心、感謝する言葉等、言葉の広がりや深まりを大切にした言語環境づくりを行っている。
- 特に、本来、子どもたちが数えきれないくらい秘めている「なぜ?」「どうして?」を、解決するために「読書」を核とした、探究活動を展開している。

2. 活動スケジュール

（1）実施時期・回数

- ①実施時期 令和6年5月～令和7年2月
- ②実施回数 各学年 20～22回

（2）活動スケジュール

- ①毎月2回～3回程度、司書と担任が連携を図り、読み聞かせ会を実施するとともに、個々での読書、グループでの読書を行う。
- ②各学年の年間カリキュラムとの関連を図り、ものがたり・宗教・昔話・季節・行事・科学・言葉・健康安全等、様々なジャンルの絵本や図鑑などを選書し、読み聞かせをしたり、子ども自身が選書をしたりして「読書の時間」を設定する。
- ③「読書の時間」を通して、子どもたちが不思議に思ったり、「なぜ?」「どうして?」の問いを、「読書」「体験」「製作」をしたりして解決していく。

3. 探究活動の実践

<活動の内容>

(1) 環境設定 図書室「えほんのもり」の環境の充実

司書が中心となり、図書室「えほんのもり」の環境整備・蔵書管理・選書作業を定期的に行い、子どもたちが「えほんのもりに行きたい」「読んでみたい」「お話を聞いてみたい」と感じられる環境整備を行い、「いつもそばに絵本」「本はいつもおともだち」を進め、子どもたちが、進んで絵本や図鑑に向き合う時間を設定している。

(2) 活動の様子

各学年・各学級では、問いかけ⇔読書 読書⇔表現（製作・歌唱）を行ったり毎月のお誕生日会では、園長が、読み聞かせを行ったりしている。また、各学級でも担任による読み聞かせも行い、「なぜ?」「どうして?」を広げ、深めている。

(3) 先生との関わりや子どもたちのつぶやき（写真参照）

子どもたちは、園庭に出発（園庭遊びの時間）。そこで、不思議な茶色の物体に出会い、「なんだろう。」という興味・関心をもつ。



先生、これなあに？（さなぎ）お部屋で育ててみたいな！

いいわね。何てお名前の虫かしら？

さなぎのお名前がわかると、育て方もわかるんだよ。

大切な大切ないのちなんだよ。



何てお名前かな～わかった！

マツクロスズメかクロスズメみたい！

すばらしい！〇〇くんは、虫博士さんですね。

4 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

○「読書」を核とした探究活動を行うことにより、子どもたち一人一人の不思議発見や「なぜ?」「どうして?」が違うことに気づくことができた。

○通常の保育においても、子どもたちが主体的に活動に参加できるよう、個で、グループで、集団で関わる時など、先生自身が把握して保育を進めていくことが大切であることに気づくことができた。